

## 東北支部創立55周年記念祝賀会・作品展を開催

東北支部創立55周年記念祝賀会は、9月16日（月）福島県郡山市磐梯熱海温泉四季彩一力において開催されました。祝賀会は二部構成で、第一部の「作品展」は2F「飛場」で14時30分から、出品者13名の作品展示（写真映像も含め）と、出品者の苦労話などの製作者発表に盛大な拍手が送られていました。また、製作者が持参してきたプレゼント作品（自作の小さな作品や作品のコピー）が希望者に配られる等、全員の方が作品をお土産に持ち帰る事ができました。

第二部の「祝賀会（懇親会）」は、2F「遊天」で18時に全員で集合写真撮影を行い、その後は、司会の55周年記念事業実行委員会三浦委員長（副支部長）の開会挨拶で祝賀会が始まりました。はじめに畠山支部長からの主催者挨拶のあと、ご来賓の（株）JTB役職者5名が壇上でお一人ずつ自己紹介をいただいた後、代表で増子仙台支店長（広域代表）からご祝辞を頂戴致しました。次に、BOB会本部からご出席の役員3名様も壇上でお一人ずつ自己紹介を頂いた後、石川会長より代表でご祝辞を頂きました。続いて、佐藤茂雄会員（元支部長）による乾杯の発声で祝宴に入りました。その後、この度会場をご提供頂いた四季彩一力小口社長（JTB 旅ホ連東北支部連合会会長）及び若女将による館主よりのご挨拶をいただきました。

祝宴でのアトラクションは、長谷部公子会員（福島しゃくなげ会）による「二胡の演奏」に皆さん聴き入って、何度も盛大な拍手が沸き起こっていました。その後は、しばし四季彩一力ご自慢の手料理の数々に舌鼓を打ちながら、福島・会津の地酒を飲み比べていました。次のカラオケタイムでは進行役の阿部理事（カラオケ愛好会代表）のご指名が上手で間を開ける事無く、皆さん次々に十八番をご披露していました。祝宴の2時間は瞬く間に過ぎて、最後に前田顧問（前支部長）の中締めの音頭でお開きとなり、全ての式次第を終了しました。

ご協力を賜りました㈱JTBの皆様、BOB会本部・関東支部の皆様、そして会場をご提供いただきました磐梯熱海温泉四季彩一力の皆様には心より感謝申し上げます。

<【第一部】作品展参加者：40名、【第二部】祝賀会（懇親会）参加者：38名>

### <支部創立55周年記念祝賀会集合写真>







< 畠山支部長あいさつ >



< ご来賓の JTB 増子仙台支店長様のご祝辞、小柳広域リテール推進統括部長様、岩泉東北仕入販売部長様、堀内福島支店長様、藤山人事担当マネージャー様（東北統括・支部幹事） >



＜ご来賓のBOB会本部石川会長のご祝辞、二階堂本部理事、西山関東支部長＞



＜小口四季彩一力社長館主ご挨拶＞



＜佐藤茂雄元支部長による乾杯ご発声＞



＜祝賀会全体風景＞

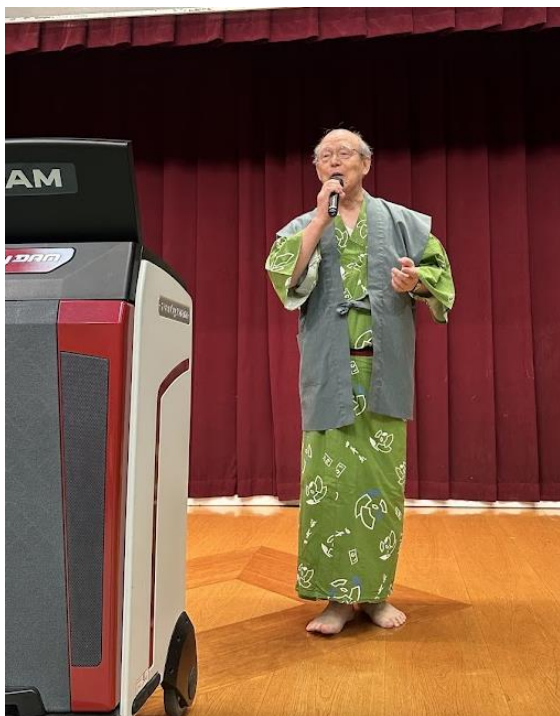


＜福島しゃくなげ会長谷部公子さん二胡演奏＞



＜司会の三浦55周年実行委員会委員長＞





＜四季彩一力若女将さんのご挨拶と素晴らしいお料理と懇親会の模様＞





＜前田顧問（前支部長）の中締め音頭＞



## 第1部「作品展・製作者発表会」



＜作品展・製作者発表風景＞







＜清水義春さんボタニカルアートの説明・発表＞



＜日本画の発表をする樋口富子さん：右の絵は河北美術展奨励賞受賞作品＞





＜古川秀一さんの切り絵の説明・発表＞



＜長谷部公子さんの二胡の演奏＞



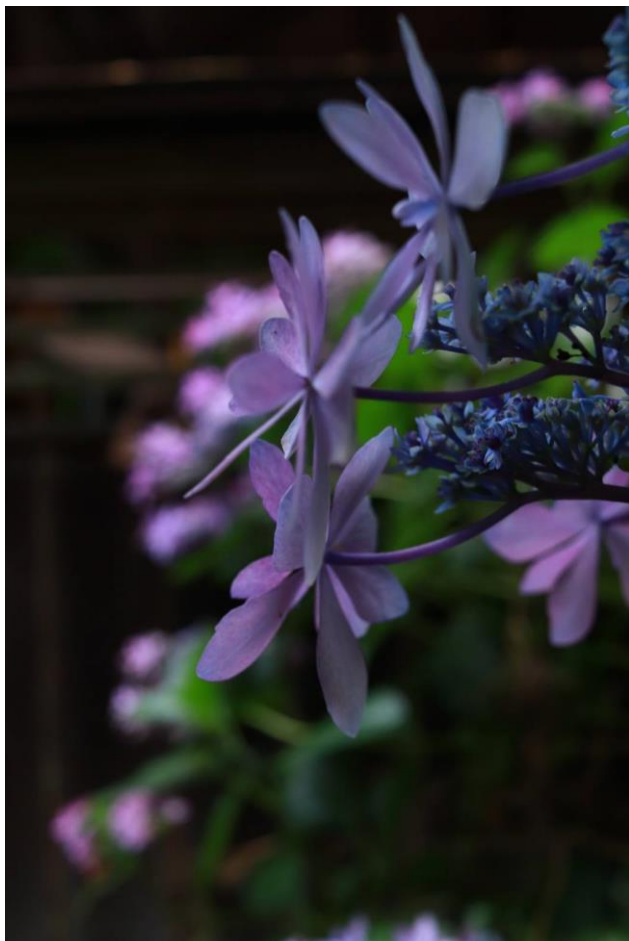


<写真：片平安之さん 左：西馬音内盆踊り、右：白石川千本桜公園>



<写真：佐藤充さん 川霧の只見川（会津三島町宮下温泉付近）>





<写真：新木幸枝さん 左：紫陽花（資福寺）、右：鳳鳴四十八滝（作並）>



<写真：畠山廣さん 餌場に向かって飛び立つ白鳥たち（水の森公園）>





＜俳句けやき会の皆様の俳句と清水孝さんの俳句と写真＞

## 調べ学習（多賀城市在住・板橋 博）

★きっかけ 6年前（2018年）春、仙台青葉まつり事務局のアルバイトの帰り、河北新報夕刊記事【駅裏130年・街の負の部分支えた】に好奇心がそそられた。それを契機に図書館と東北歴史博物館の情報館に足を運び、レポートに。私の知らなかった仙台駅東口の事柄を発見することができた。

★タイトル【調べ学習】BOB新聞に掲載された記事をヒントにした。

★レポートの写し持参

NO.	テーマ	きっかけ等（発行月日）
1.	2018年 仙台駅裏	(9/24) * 4/16付け河北夕刊記事がヒント 駅裏、「仙台の都市化に伴い、工場・軍隊・性風俗など歴史的に負の部分支えてきた」歴史的な陰をあぶり出す・・・長い間、あまり光の当たってこなかった東口の歴史を学ぶ
2.	2019年 国鉄にもあった 差別&昭和43年 10月ダイヤ改正	(5/29) * 国鉄OBの講演会「東北本線の近代化」がヒント ・東北本線は、北海道・樺太との連絡の通路として役割が・・・ ・技術的な歩み、近代化（電化・複線化）は大きく遅れたが、やっと全国レベルになったは、昭和43年10月ダイヤ改正

※No.1（2018年9月）スタートして、現在は No.41「八丈島への島流し・火山噴火と全島避難・南海トラフ地震」（レポートA4版14ページ）まで作品が増えている。

※調べ学習レポートが必要な方は、メール：[wg060122-5217@tbz.t-com.ne.jp](mailto:wg060122-5217@tbz.t-com.ne.jp) 板橋へ。

＜「調べ学習」の板橋博さん：展示場には、全作品リストと代表作品を展示した＞